室町時代

名前

問1　室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。（2021年 高知県公立入試 類似）

1. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと
2. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと
3. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと
4. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと

問2　14世紀末から15世紀にかけて、室町幕府の将軍である足利義満は中国の王朝である明と正式な国交を樹立しました。この貿易において、明側が「勘合」と呼ばれる証票の使用を日本側に求めた主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. 日本国内で産出される銀の総量を把握し、明への輸出を義務付けるため
2. 日本に派遣される明の使節が、幕府から十分なもてなしを受ける権利を証明するため
3. 正式な貿易船と、東アジアの沿岸部で活動していた海賊である倭寇を区別するため
4. キリスト教の布教を目的とする宣教師の入国を厳格に制限するため

問3　京都の祇園祭が、中世から現代まで続く伝統的な行事として維持されてきた背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）

1. 江戸時代に入ってから、徳川将軍家が京都の町衆の力を抑えるために、幕府主導の行事として祭礼の内容を一新させた。
2. 応仁の乱の後、幕府の統治能力が低下した京都で、町衆と呼ばれた商工業者らが自治組織を作って祭礼の運営を主導した。
3. 鎌倉時代に幕府が京都に六波羅探題を置いたことで、武士が商工業者を厳しく統制し、計画的に大規模な祭礼を挙行させた。
4. 足利義政が銀閣を建立した東山文化の時期に、幕府が資金をすべて負担することで、公家や僧侶のための行事として再興された。

問4　室町時代には、農業技術の進歩によって農業生産力が大きく向上しました。その要因として、灌漑技術の向上や肥料の使用拡大とともに全国へ普及した、同じ耕地で一年の間に二種類の異なる作物（主に夏に米、冬に麦など）を栽培する農業方法を何といいますか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）

1. 三毛作
2. 輪作
3. 二毛作
4. 単作

問5　室町時代に栄えた文化について、墨の濃淡のみを用いて風景などを描く芸術を確立した人物と、親子で「能」を大成した人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 水墨画を確立した雪舟と、能を大成した観阿弥・世阿弥
2. 浮世絵を確立した菱川師宣と、能を大成した雪舟
3. 水墨画を確立した観阿弥・世阿弥と、能を大成した雪舟
4. 歌舞伎を確立した菱川師宣と、能を大成した観阿弥・世阿弥

問6　室町時代の「惣」の仕組みや背景について、当時の社会情勢を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 奈良県公立入試 類似）

1. 農民たちが寄合を開いて村の掟を定め、団結して領主への直訴や土一揆を行うこともあった
2. 仏教の布教を目的とした宗教的な集まりであり、農業経営や村の政治に関わることはなかった
3. 特定の特権を持つ商人たちが結成した同業者組織であり、市場での独占販売権を行使した
4. 室町幕府が農民を支配するために組織した行政機関であり、役人である武士が運営を主導した

問7　足利義満が明と貿易を行うにあたり、明の皇帝に対して取った外交上の立場や形式について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2019年 大阪府公立入試 類似）

1. 幕府の役人ではなく、有力な寺院の僧侶に全権を委任した民間貿易の形式をとった
2. 聖徳太子の時代のように、中国の皇帝と距離を置いた独立独歩の立場を強調した
3. 「日本国王」の称号を受け、明の皇帝に貢ぎ物を届ける朝貢の形式をとった
4. 「征夷大将軍」の称号のまま、明の皇帝と対等な立場での国交を求めた

問8　室町幕府が、京都に拠点を置く金融業者である土倉や、酒の醸造を行っていた酒屋に対して「倉役」や「酒屋役」といった税を課した理由と、その背景に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2020年 山口県公立入試 類似）

1. 地方の有力な農村組織である「惣」が幕府に反抗したため、軍事費を捻出するために臨時の課税を行った。
2. 幕府の直轄領からの収入が不十分であったため、都市部の豊かな業者に特権を与える代わりに安定した税収を得ようとした。
3. 幕府が土倉や酒屋を廃止して、すべての金融業務を公的な役所で行うための準備資金が必要だった。
4. 幕府が貨幣の使用を禁止し、物々交換の経済へ戻すための資金を確保しようとした。

問9　日本の伝統的な「浦島伝説」が記されている古典作品について、奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集と、室町時代に成立した絵入りの短編物語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 新古今和歌集と御伽草子
2. 古今和歌集と浮世草子
3. 万葉集と御伽草子
4. 万葉集と浮世草子

問10　室町時代に発達した、墨一色の濃淡で自然の風景などを表現する絵画の技法と、その技法を用いて「秋冬山水図」などの作品を残し、日本の芸術に大きな影響を与えた人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 唐三彩 － 鑑真
2. 浮世絵 － 近松門左衛門
3. 大和絵 － 紀貫之
4. 水墨画 － 雪舟

問11　室町時代、馬借や農民らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の証文を破り捨てるなどの実力行使を伴う一揆が発生しました。こうした一揆の要求を受け、幕府が借金の帳消しを命じるために出した法令を何といいますか。（2018年 三重県公立入試 類似）

1. 武家諸法度
2. 徳政令
3. 分国法
4. 公事方御定書

問12　後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻し、1338年に光明天皇から征夷大将軍に任命されて、京都に武家政権である室町幕府を開いた人物は誰ですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 源頼朝
2. 足利尊氏
3. 足利義満
4. 足利義政

問13　室町時代の農村社会において、村の自治組織である惣（惣村）が行っていた主な活動として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）

1. 幕府の命令により、年貢の納入や犯罪防止について村全体で連帯責任を負わされた。
2. 村の話し合いである寄合を開き、用水の管理や治安維持などを自主的に行った。
3. 幕府から営業の独占権を得る代わりに税を納め、商売の権利を守った。
4. 同業者の組合を結成し、商品の販売ルートや価格を協定して利益を確保した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと	室町時代に水墨画が発展した大きな要因は、足利義満が始めた勘合貿易（日明貿易）です。この貿易船には多くの禅僧が同行しており、彼らが中国の明で最新の文化や絵画技法を学び取ってきたことが、雪舟による日本的な水墨画の完成に繋がりました。他の選択肢は平安時代（国風文化）、安土桃山時代（南蛮文化）、江戸時代（元禄・化政文化）の内容であるため誤りです。
問2	答え 3 正式な貿易船と、東アジアの沿岸部で活動していた海賊である倭寇を区別するため	足利義満は明の皇帝から「日本国王」として認められる形で冊封体制に入り、正式な朝貢貿易を開始しました。当時、東アジアの沿岸部では倭寇と呼ばれる海賊集団が活動して私的な密貿易や略奪を行っており、明はこれらを排除するために、半分に割った「勘合」を照らし合わせることで正式な貿易船であることを証明する仕組みを導入しました。
問3	答え 2 応仁の乱の後、幕府の統治能力が低下した京都で、町衆と呼ばれた商工業者らが自治組織を作って祭礼の運営を主導した。	1467年に始まった応仁の乱により京都は焦土と化しましたが、幕府には都市を復興させる十分な力が残っていませんでした。これに対し、京都の商工業者である町衆は、自らの手で街を守り、運営する「自治」の仕組みを築きました。祇園祭の復興はその自治の象徴であり、自分たちの文化を維持しようとする町衆の強い意志と経済力によって支えられました。他の選択肢にある武士や幕府主導による復興という説明は誤りです。
問4	答え 3 二毛作	鎌倉時代に西日本で始まったとされる二毛作は、室町時代に入ると水車の普及による灌漑技術の向上や、草木灰・下肥といった肥料の利用拡大、牛馬による耕作の普及を背景に、全国へと広がりました。これにより一年の間の土地利用効率が劇的に高まり、食料の生産量増加に直結しました。
問5	答え 1 水墨画を確立した雪舟と、能を大成した観阿弥・世阿弥	室町時代には、足利義満や義政の時代を中心に、武士の文化と公家の文化が融合した独自の文化が発展しました。雪舟は明（中国）に渡って絵画の技法を学び、墨の濃淡で表現する水墨画を日本独自の芸術として確立しました。また、猿楽などの伝統的な芸能をもとに、観阿弥・世阿弥の親子が「能」として芸術性の高い舞台芸能に仕上げました。菱川師宣や歌舞伎は江戸時代の文化に該当するため、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 1 農民たちが寄合を開いて村の掟を定め、団結して領主への直訴や土一揆を行うこともあった	「惣」は農民による自治組織であり、村の重要な事項は「寄合（よりあい）」という会議で決定されました。この団結力は単なる村の管理に留まらず、過重な年貢に苦しむ際には、領主に対して減免を求めたり、借金の帳消しを求める「土一揆（つちいっき）」へと発展したりすることもあり、当時の社会において大きな影響力を持ちました。
問7	答え 3 「日本国王」の称号を受け、明の皇帝に貢ぎ物を届ける朝貢の形式をとった	足利義満は経済的な実利を得ることを優先し、明を中心とした国際秩序に従う形をとりました。明の皇帝から「日本国王」として認められる（冊封を受ける）ことで、臣下として貢ぎ物を捧げる「朝貢（ちょうこう）」という形式で貿易が行われました。これにより、室町幕府は莫大な富を得ることになりました。
問8	答え 2 幕府の直轄領からの収入が不十分であったため、都市部の豊かな業者に特権を与える代わりに安定した税収を得ようとした。	室町幕府は直轄領（御料所）が少なかったため、財政を支えるために京都などの都市部で経済力を持っていた土倉（金融業者）や酒屋に注目しました。幕府は彼らに独占的な営業権などの特権を認める見返りとして、倉役や酒屋役と呼ばれる税を課し、重要な財源としました。このように、幕府が特定の商工業者と結びついて財政を維持していた点が室町時代の大きな特徴です。
問9	答え 3 万葉集と御伽草子	浦島伝説は、奈良時代に編纂されたわが国現存最古の歌集である「万葉集」において、高橋虫麻呂によって歌として詠まれています。その後、室町時代になると、当時の民衆の間で親しまれた挿絵入りの短編物語である「御伽草子」の代表的な作品の一つとして、物語の形式が整えられました。
問10	答え 4 水墨画 － 雪舟	室町時代には、禅宗の影響を受けて墨の濃淡のみで表現する水墨画が好まれました。雪舟は明に渡って本格的な技法を学び、日本の水墨画を大成させた人物として知られています。紀貫之は平安時代の歌人、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者、鑑真は奈良時代に仏教を伝えた僧侶であり、時代や分野が異なります。
問11	答え 2 徳政令	室町時代には、物資の輸送を担う馬借や農民らが団結し、高利貸しを営んでいた酒屋や土倉に対して借金の帳消しを求める「土一揆」が頻発しました。幕府がこれらの一揆の圧力を受けて出した、借金を無効にする法令を徳政令と呼びます。
問12	答え 2 足利尊氏	鎌倉幕府を滅ぼす際に貢献しましたが、その後の後醍醐天皇による公家を重視した政治に武士たちが不満を抱いたため、それらの武士をまとめて独自の政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。
問13	答え 2 村の話し合いである寄合を開き、用水の管理や治安維持などを自主的に行った。	惣（惣村）では、農民たちが寄合と呼ばれる話し合いを行って村の決まりを定め、用水の管理や自衛などの自治活動を自主的に進めました。営業の独占権を得たのは「座」、連帯責任を負わされたのは「五人組」、商品の価格などを協定したのは「株仲間」の説明です。